

[産業経済部 農業政策課 所管]

○農業振興に要する経費（06010301） 42,412,514 円（55,319,648 円） 決算書 P220

〈国・県：35,346,153 円 その他：10,290 円 一財：7,056,071 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：青年就農給付金経営開始型補助金	6,375,000 円
・県補：人・農地問題解決加速化事業費補助金	38,000 円
・県補：環境保全型農業支援補助金	858,600 円
・県補：産地改革チャレンジ事業費補助金	340,000 円
・県補：担い手確保・経営強化支援事業費補助金	20,257,000 円
・県補：農地中間管理機構集積協力金交付事業補助金	7,456,000 円
・県委：農地中間管理事業受託収入	4,294 円
・県委：県事務処理特例交付金	17,259 円
・諸収入：電子コピー複写サービス料	10,290 円

（目的）

農家所得の向上及び坂東市農業の発展を目的とする。

（内容）

坂東市の基幹産業である農業の振興施策を推進する。

（効果）

農家所得の向上及び坂東市農業の発展が図れた。

○園芸振興事業に要する経費（06010302） 171,000 円（2,289,000 円） 決算書 P222

〈一財：171,000 円〉

（目的）

農家所得の向上及び坂東市農業の発展を目的とする。

（内容）

坂東市の基幹作物である園芸品目の振興施策を推進する。

（効果）

所得・経営安定及び坂東市園芸の振興が図れた。

○農業用プラスチック適正処理推進事業に要する経費（06010303） 12,636,277 円（9,874,479 円）
決算書 P222

〈その他：3,717,636 円 一財：8,918,641 円〉

＊特定財源積算根拠

・諸収入：農ポリ処理農家負担金	2,848,200 円
・諸収入：農業用廃ビニール搬出登録料	819,000 円
・諸収入：農業用プラスチック売却代金	50,436 円

（目的）

使用済み農業用プラスチックの計画的、組織的回収及び適正処理に関する普及啓発による農村環境保全を目的とする。

（内容）

使用済み農業用プラスチックの計画的、組織的回収及び適正処理に関する普及啓発。

・収集処理実績 農ビ 291.24 t 農ポリ 262.14 t

（効果）

使用済み農業用プラスチックの計画的、組織的回収及び適正処理に関する普及啓発による農村環境保全が図られた。

○病害虫防除に要する経費（06010304） 1,869,496 円（1,986,692 円） 決算書 P224

〈一財：1,869,496 円〉

（目的）

水稻病害虫の発生及び蔓延の防止を目的とする。

（内容）

育苗箱防除に対し、10a につき上限 1,000 円、米作の生産調整未達成者 10 a につき上限 500 円の助成を行った。

（効果）

所得・経営安定及び良質米の生産の向上が図れた。

○米政策改革推進対策に要する経費（06010305） 29,588,174 円（29,792,345 円） 決算書 P224

〈国・県：9,648,000 円 一財：19,940,174 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金 9,648,000 円

（目的）

米の生産調整を行い、需要に応じた生産を行うことにより米の価格安定を図ることを目的とする。

（内容）

生産調整計画に基づき、市内水田の有効性を図るため、100%以上実施した農業者に対し、市上乗せ補助金を交付し事業の円滑な推進と水田農業対策の確立を図った。

（効果）

国の経営所得安定対策だけでは対応できない部分について市補助金を利用し、農家の生産調整への意識向上が図られた。

28 年産米生産調整結果

生産目標面積	1,509.0ha
生産実地面積	1,640.3ha
過剰作付面積	131.3ha
米作付率	108.7%（未達成）

○農業経営対策に要する経費（06010306） 703,468 円（45,691,264 円） 決算書 P226

〈国・県：277,434 円 一財：426,034 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：農業経営基盤強化資金利子助成補助金 277,434 円

（目的）

認定農業者及び担い手の育成・確保による農業経営の安定を図ることを目的とする。

（内容）

認定農業者及び担い手の育成・確保及び支援を行った。

（効果）

坂東市農業を担う認定農業者の確保や農業経営の維持が図られた。

○農産物ブランド拡充推進に要する経費（06010309） 3,705,450 円（3,763,076 円）

決算書 P228

〈その他：3,112,450 円 一財：593,000 円〉

＊特定財源積算根拠

・繰入金：地域振興基金繰入金 2,700,000 円

・諸収入：野菜即売会売上金 412,450 円

(目的)

消費者・市場から信頼される足腰の強い産地づくりにより、坂東市農業の発展を目的とする。

(内容)

坂東市の特性や資源を生かし、生鮮野菜供給基地としての地位を確立するため、戦略的・計画的な取り組みを行い、農産物の高度化や差別化を推進した。

(効果)

坂東市野菜のPR即売会や七郷中川土地改良区内における蓮華・クローバーを活用した地域活性化事業の実施により、坂東市のPRや地域の活性化を図ることができた。

○土地改良事業に要する経費 (06010502) 84,415,221 円 (159,363,996 円) 決算書 P230

〈国・県：21,297,656 円 地方債：22,500,000 円 その他：3,162,000 円 一財：37,455,565 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・県補：農地集積基盤整備推進事業補助金 7,640,000 円
(七郷中川 流動化率58.8% 1,710,000円、駒跂 流動化率20.0% 300,000円、
坂東中央 流動化率20.0% 5,630,000円)
- ・県補：多面的機能支払交付金 13,657,656 円
- ・地方債：農業農村整備事業債 22,500,000 円
- ・諸収入：農地集積基盤整備推進事業受益者負担金 3,162,000 円
事業費の20% (七郷中川 492,000円) 事業費の30% (駒跂 176,000円)
事業費の24% (坂東中央 2,494,000円)

(目的)

市の基幹産業である農業の基盤整備を行うことによって、遊休農地対策の促進、農地の流動化、農作業の受委託等による土地利用型農業の促進を図る。

(内容)

- ・経営体育成基盤整備事業
七郷中川地区 支線道路工 L=1032m 用水機場附帯工 2箇所
七郷中川2期地区 支線道路工 L=1056m
- ・地盤沈下対策事業
南総上流2期地区 測量業務一式 設計業務一式
- ・畑地帯総合整備事業
駒跂地区 幹線道路工 L=40m 支線道路工 L=437m
坂東中央地区 区画整理工 A=48.1ha 幹線道路工 L=946m
- ・基幹水利施設補修事業
南総土地改良区 ポンプ設備工
小谷沼土地改良区 ポンプ修繕 1台 吐出弁更新
鵜戸沼土地改良区 ポンプ修繕 3台
七郷中川土地改良区 ポンプ付帯設備修繕 2台
- ・農地集積基盤整備推進事業補助 七郷中川地区 駒跂地区 坂東中央地区
- ・多面的機能支払交付金事業補助金
岩井北部地区 鵜戸沼地区 西総地区 前沼地区 五郎兵衛新田地区 借宿生子地区
初崎地区 幸田新田勘助新田地区

(効果)

基幹産業である農業の基盤整備をすることにより、日本を代表する生鮮野菜供給基地としての地位確立を図っている。生産、流通体制の充実にも貢献し、これからの地域農業振興の担い手の育成・強化を図ることができた。

○湛水防除施設管理に要する経費（06010503） 15,391,674 円（15,441,804 円） 決算書 P232

〈国・県：772,100 円 一財：14,619,574 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：湛水防除施設管理費補助金 772,100 円

（目的）

湛水防除施設の維持管理を行い湛水による被害を除去する。

土地利用の高度化を図り農業生産を増大し、農業経営と住民生活の安定を図る。

（内容）

湛水防除管理費 飯沼 1 飯沼 2 七郷中川 立川 小谷沼 馬立 鶴戸

（効果）

基幹的用排水施設の適正な維持管理をすることにより、湛水による被害を除去するとともに、土地利用の高度化による農業総生産の増大により、農業経営の安定を図ることができた。

（課題）

更新時期を迎える施設等が多くなるために、施設の機能診断により、維持補修を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。

○霞ヶ浦用水建設に要する経費（06010504） 66,863,123 円（77,761,092 円） 決算書 P234

〈国・県：749,000 円 地方債：300,000 円 その他：647,836 円 一財：65,166,287 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：国営造成施設管理体制整備促進事業補助金 749,000 円

・地方債：農業農村整備事業債 300,000 円

・諸収入：国・公団営霞ヶ浦用水事業計画償還助成金 647,836 円

（目的）

安定した用水供給体制を確立し、用水導入を契機として地域営農の構造改善を進め、総合的な事業効果の発現を図り生産性の高い安定した農業生産の基盤を確立することを目的とする。

（内容）

国、水資源機構及び県の計画に沿って基幹的な部分が完了したことで、事業の歩調を合わせた末端土地改良事業の実施。また、普通畑受益地の営農体制の確立に向け畑地かんがい営農について、受益者の理解と意識の高揚を図る。

（効果）

用水を活用した新しい畑作営農の展開を図るため、受益農家に対して畑地かんがいの必要性の認識や組織づくりを行い、畑地かんがい営農の啓発、普及を図ることができた。

○農道整備事業に要する経費（06010601） 33,422,639 円（64,506,078 円） 決算書 P234

〈国・県：6,075,000 円 一財：27,347,639 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：農業基盤整備事業補助金（農道整備） 6,075,000 円

（目的）

農業の近代化に備え農道整備が必要条件となり農業地域の生産を高度化し、円滑にすることを目的とする。

（内容）

・つくば下総 2 期 用地費一式

・農道整備（猫実地区） 実施設計費一式 改良工 L=69.4m

・農道整備（前原東地区） 測量試験費一式 用地買収補償費一式 実施設計費一式
改良工 L=66.0m

(効果)

車種転換が図られ通作交通及び輸送車種が大型化することに加え、走行速度が上がることから、時間短縮が図られ、併せて野菜輸送において荷傷みが解消されるなど、商品価値の向上、農業生産性の合理化を図ることができた。

○地籍調査に要する経費（06010801） 2,022,655 円（4,567,078 円） 決算書 P236

〈国・県：1,200,000 円 一財：822,655 円〉

*** 特定財源積算根拠**

・ 県負：地籍調査費負担金 1,200,000 円（負担率 3/4）

(目的)

正確な土地の記録と地図の整備を目的とする。

(内容)

地積測定	0.20 ㎢	（中里の一部(中里Ⅴ地区)）
原図作成	0.50 ㎢	（中里の一部(中里Ⅴ、Ⅳ地区)）
複図作成	0.50 ㎢	（中里の一部(中里Ⅴ、Ⅳ地区)）
閲覧	0.50 ㎢	（中里の一部(中里Ⅴ、Ⅳ地区)）

(効果)

地籍調査の推進により、測量の簡素化・正確性の確保が図られた。

**○関東・東北豪雨による災害復旧に要する経費（14010101） 104,220,000 円（85,613,478 円）
決算書 P368**

〈国・県：93,951,000 円 地方債：2,700,000 円 その他：463,149 円 一財：7,105,851 円〉

*** 特定財源積算根拠**

・ 県補：農業用施設災害復旧事業補助金	93,951,000 円
・ 地方債：農業用施設災害復旧事業債	2,700,000 円
・ 諸収入：農業用施設災害復旧事業受託収入	463,149 円

(目的)

関東・東北豪雨災害により被災した農業用施設の機能回復を目的とする。

(内容)

・ 農業用施設災害復旧工事		
南総土地改良区	用排水機場	4 箇所
逆井土地改良組合	用排水機場	1 箇所
入沼土地改良区	用水機場	1 箇所

(効果)

用排水機場施設の機能回復を行い、農業生産の安定を図ることができた。

[産業経済部 商工振興課 所管]

○商工振興に要する経費（07010201） 125,075,855 円（167,710,513 円） 決算書 P240

[産業経済部 観光交流課 所管 81,566,997 円含む]

〈国・県：4,441,000 円 その他：81,819,800 円 一財：38,815,055 円〉

*** 特定財源積算根拠**

・ 国補：社会資本整備総合交付金（住宅リフォーム事業）	4,161,000 円
・ 県補：商店街活力向上支援事業費補助金	280,000 円
・ 使用料：商店街多目的広場使用料	19,800 円
・ 繰入金：地域振興基金繰入金	9,800,000 円

① 商工業関連事業 18,231,000 円

(目的)

商工業の総合的な改善発達を図ると共に社会一般の福祉の増進に寄与し、経済の健全な発展を図り、経営の改善・向上により商工業者の経営基盤の安定化と地域経済の振興を図る。

(内容)

・商工会経営改善普及事業補助金	12,096,000 円
・小規模事業対策補助金	5,666,000 円
・工業振興対策事業補助金	283,000 円
・喫煙マナー向上対策事業補助金	186,000 円

(効果)

経営の改善・向上により商工業者の経営基盤の安定化が進み、地域経済の振興が図れた。

② 中心市街地商店街事業 12,290,045 円

(目的)

市内の消費及び経済が低迷し、商工業の振興並びに消費の促進を図る必要があるため、中心市街地活性化事業の一環として、中心市街地商業団体が商店街のイメージアップや集客力を高めるために共同で行うイベント事業や共同施設の維持管理費等に対して助成を行う。

(内容)

・商業活性化イベント事業補助金	2,400,000 円
・商店街振興組合共同施設維持管理費補助金	407,117 円
・商店街活力向上支援事業補助金	9,482,928 円

(効果)

- ・それぞれ目的をもった各種イベント事業を実施し、商店街の振興並びに市の活性化に大きな効果があった。
- ・新たなイベントや販売促進活動等の同時開催により集客の向上が図られ、商店街活性化につながった。
- ・中心市街地の商店街において共同施設の維持管理が効果的に行われた。

③ 住宅リフォーム資金助成事業 8,881,000 円

(目的)

市民の消費の促進及び市内商工業の振興を図る。

(内容)

市民が、市内に所有する個人住宅及び、併用住宅の個人住宅部分の改良又は改善工事を市内の施工業者によって行う場合に経費の一部を助成する。

申請件数	105 件
工事費総額	176,413,827 円
助成額合計	8,881,000 円

(効果)

市民の消費の促進並びに市内建築業等の振興が図られた。

○融資対策に要する経費 (07010202) 35,284,463 円 (32,960,976 円) 決算書 P242

〈国・県：1,781,606 円 その他：10,000,000 円 一財：23,502,857 円〉

*特定財源積算根拠

・県補：緊急対策融資利子補給事業補助金	1,781,606 円
・諸収入：自治金融貸付預託金元金収入	10,000,000 円

(目的)

市内金融機関に預託を行い、融資金利を低利に抑え、中小企業者の金融の円滑化を図り、また、保証料の補給をすることにより、利用者負担の軽減を図る。

(内容)

新規申込・既存分

保証料補給 全額全期間補給

保証料補給

限 度 振興金融（運転 1, 0 0 0 万・5 年、設備 2, 0 0 0 万・7 年）

自治金融（運転・設備共 1, 0 0 0 万・7 年）

- ・自治金融貸付預託金 10,000,000 円（市内金融機関 4 行）
- ・中小企業事業資金保証料補給金 24,284,463 円

(効果)

中小企業者が低利で事業資金の融資を受けることができ、金融面での円滑化が図られた。また、保証料の補給をすることにより、中小企業者の負担を軽減し、経営の安定化を図った。

○消費生活センター事業に要する経費（07010402） 5,747,371 円（6,088,817 円） 決算書 P248

〈国・県：2,327,920 円 一財：3,419,451 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・県補：消費者行政活性化基金事業費補助金 2,327,920 円

(目的)

市民の身近な消費生活に関する相談及び苦情相談窓口として、消費生活センターをアピールし、安全・安心な消費生活の確保に取り組むとともに、年々増加している特殊詐欺等の被害を未然に防止する啓発活動等を推進する。

(内容)

消費者相談窓口を充実させ、消費者が安心して消費生活を送れるように消費者相談体制の強化を図る。

- ・消費生活相談員の配置
- ・消費者行政活性化基金事業

イベント：食の安全安心の取組み（消費者教育）

2/28（火）「自分たちで作るお昼ごはん」（長須小学校 5 年生対象）

- ・消費生活センターの啓発・啓蒙の実施（3 回実施）
- ・消費者被害を防ぐための出前講座の開催（15 回実施）
- ・消費者ホットラインとの連携

(効果)

相談業務では、毎日寄せられる相談を 2 人の相談員により適正に、迅速に対応することができた。また、児童・生徒や高齢者を対象とした出前講座等を開催することで、被害を未然に防止する啓蒙を図ることができた。

[産業経済部 観光交流課 所管]

○ふるさと創生事業に要する経費（02011101） 644,976 円（1,159,922 円） 決算書 P108

[企画部 企画課 所管 171,000 円含む]

〈その他：171,000 円 一財：473,976 円〉

(目的)

市内にある伝統的な遺産を有効に活用し、市内外にその情報発信をすることによって、郷土愛の醸成や坂東市の知名度向上並びに活性化につなげていく。

(内容)

ふるさと創生事業

市内の史跡や歴史等に関する施設・イベント等を市内外に情報発信することで、本市の活

性化の一助とするため事業を実施した。

- ・市内史跡めぐり案内 「坂東市ふるさとガイドの会」による案内を21回開催
参加者延人数 542人
- ・「錦絵」の購入 397,440円

(効果)

坂東市ふるさとガイドの会会員が、史跡めぐりを目的に本市を訪れる方を案内したことで、史跡のPRや市の情報発信ができ、より一層理解関心を深めてもらうことができた。

また、市の所有する各種歴史的資料を他市や情報誌等に貸出することにより、坂東市の知名度向上につなげることができた。

○商工振興に要する経費(07010201) 125,075,855円(167,710,513円) 決算書P240

[産業経済部 商工振興課 所管 43,508,858円含む]

〈国・県：4,441,000円 その他：81,819,800円 一財：38,815,055円〉

＊特定財源積算根拠

- ・繰入金：公共施設整備基金繰入金 72,000,000円

(目的)

観光交流センター秀緑と共に集客施設として整備を図り、中心市街地の活性化及び商工業者の振興、観光客の集客力向上を図る。

(内容)

平成28年度グランドオープンに向け、施設整備を行った。

- ・まちなか交流センター整備工事 72,531,072円
- ・まちなか交流センター備品購入 4,650,318円
- ・まちなか交流センター運営管理委託 4,000,000円

(効果)

平成28年11月にグランドオープンし、観光客や市民の方が訪れ、中心市街地の活性化及び商工業者が自社商品を納入販売することにより、商工業者の振興が図れた。

○(仮称)秀緑管理に要する経費(07010203) 32,405,737円(32,295,764円) 決算書P242

〈その他：508,100円 一財：31,897,637円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：ガラス工房使用料 508,100円

(目的)

近代的な街並みの商店街に隣接し、歴史的建造物が立ち並ぶ観光交流センター秀緑及び施設内にあるガラス工房の維持、管理、運営を行い市内外からの集客に努め中心市街地の活性化を図る。

(内容)

- ・嘱託職員、市街地活性化主任推進員報酬 14,633,703円
- ・ガラス工房炉管理業務委託 2,085,000円
- ・観光交流センター運営管理委託 11,277,000円

(効果)

平成28年11月に全施設グランドオープンし、体験工房や動物ふれあい広場への来場者、貸館事業また、主催イベント等を開催することで市内外からも来場者が訪れ、中心市街地の活性化及び市民の交流を図ることができた。

○（仮称）秀緑整備事業に要する経費（07010204） 431,154,275 円（377,684,492 円）

決算書 P244

〈国・県：198,130,000 円 地方債：179,500,000 円 その他：12,400,000 円

一財：41,124,275 円〉

＊特定財源積算根拠

・国補：社会資本整備総合交付金（既存建造物活用事業）	198,130,000 円
・地方債：都市再生整備事業債	179,500,000 円
・繰入金：公共施設整備基金繰入金	12,400,000 円

（目的）

歴史的建造物や景観の有効活用、並びに近代的な商店街からの異空間として、既存商店街との相乗効果を創出する集客施設として整備を図り、中心市街地の活性化及び商業振興としての集客力向上を図る。

（内容）

平成 28 年 1 1 月のグランドオープンに向け、施設整備を行った。

・工房改修煙突補強工事	76,356,000 円
・外部電気設備工事・外部機械設備工事本蔵熱源機器設置工事	113,400,000 円
・離れ新築工事	33,696,000 円
・東側トイレ新築工事	27,864,000 円
・南側庭園外構工事	38,016,000 円
・外構Ⅰ期工事	12,960,000 円
・屋台新築・外構工事	82,836,000 円

（効果）

平成 28 年 1 1 月に全施設グランドオープンし、体験工房や動物ふれあい広場への来場者、貸館事業、また、まちづくり（株）主催のイベント、ホコテンとの共催事業などを開催したことで市内外からも来場者が訪れ、中心市街地の活性化及び市民の交流を図ることができた。

○観光振興に要する経費（07010301） 46,215,617 円（37,547,509 円） 決算書 P246

〈その他：43,700,000 円 一財：2,515,617 円〉

＊特定財源積算根拠

・繰入金：地域振興基金繰入金	43,700,000 円
----------------	--------------

（目的）

観光事業の振興発展とともに、市内外への坂東市 P R と観光促進を図り、産業経済の進展と文化の向上に寄与し、市の活性化を図る。

（内容）

・坂東市観光協会補助金	14,838,000 円
・岩井将門まつり補助金	13,648,670 円
・ふる里さしま古城まつり補助金	9,749,039 円
・さしま夏まつり補助金	1,400,000 円
・遊歩道雑草除去委託料	929,700 円

（効果）

観光事業の一環として、まつりやイベント、市民参加型イベントなどを開催することにより、市民活動に対する場の提供、市の活性化へとつなげることができた。また、積極的な観光 P R 活動を進めたことにより、市の知名度向上に寄与することができた。